

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和6年度第1回松阪市文化センター運営委員会
2. 日 時	令和6年6月13日(木) 午後7時00分から午後8時00分
3. 場 所	農業屋コミュニティ文化センター
4. 出席者名	日 時 令和6年6月13日(木) 19:00~20:00 場 所 農業屋コミュニティ文化センター 出席者 【委 員】◎中西 幸男、○森本 小百合、馬場 弘幸、 牧田 研介、長 百合子、加藤 又義 6名出席 (◎委員長、○副委員長) 【事務局】クラギ文化ホール 甚野館長、小路主幹、久保主任 嬉野ふるさと会館 長谷川館長、安保主任 文化課 松葉参事、梶間主幹 7名出席
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	無し
担当	松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール 担当者 : 館長 甚野 浩一 電 話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

議題

- (1) 令和5年度自主事業実績について
- (2) 令和6年度自主事業予定について
- (3) 令和7年度自主事業案について
- (4) その他

議事録

別紙

令和 6 年度第 1 回松阪市文化センター運営委員会議事録

日 時 令和 6 年 6 月 13 日 (木) 19:00~20:00

場 所 農業屋コミュニティ文化センター

出席者 【委 員】◎中西 幸男、○森本 小百合、馬場 弘幸、牧田 研介

長 百合子、加藤 又義 6 名出席

(◎委員長、○副委員長)

【事務局】クラギ文化ホール 甚野館長、小路主幹、久保主任

嬉野ふるさと会館 長谷川館長、安保主任

文化課 松葉参事、梶間主幹

7 名出席

◎議 題

1. 令和 5 年度自主事業実績について

令和 5 年度の第 3 回会議時点にて、まだ終了していなかった事業（農業屋コミュニティ文化センター 1 事業、嬉野ふるさと会館 2 事業）について、事業の概要、入場者数の実績等を報告。

主な議論・意見内容

・集客目標について、コロナ禍においては間隔をあけて座る等の対策が必要だったので、定員の 6 割程度で設定していたが、もう状況も変わってきているので、できるだけ多くの人に来てもらえるような努力を。コロナ禍後は特に参加が伸び悩んでいるが、そんな中で魅力的な事業を企画し、届けることは難しくなっているが、会館側も努力してほしい。

→(事務局)コロナの扱いも変わり、観光地などは人出も戻ってきていることから、館の事業においても目標値に戻していきたい。

・小さい子どもが集まる事業において、おむつ替えや授乳のスペースは設けてあったが、利用する側の視点が欠け、配慮が不十分と感じた。

2. 令和 6 年度自主事業予定について

自主事業として農業屋コミュニティ文化センター 8 事業、嬉野ふるさと会館 7 事業、また文化芸術団体共催事業として農業屋コミュニティ文化センターで 5 事業を実施することについて報告。

嬉野で予定していたお笑い演芸については、2 つの事業に分けて実施すること、関孝弘ピアノリサイタルについては、やり方を工夫していきながらも継続したいことを説明。

主な議論・意見内容

・今年の中部フィルハーモニー交響楽団演奏会は、ジブリアニメの曲ということで、子どもが喜ぶので行きたいと思ったが、3 歳未満は入場不可というのが残念であった。

→(事務局)この企画は中部フィル側が設定するものであるが、今後、アニメなどの音楽は低年齢の子どもでも観覧できるようにしてほしいと要望を伝える。

・関孝弘さんのように、地元ゆかりの人に来てもらうのは良いことだが、回を重ねてもより多くの人に聴いてもらえるような取り組みが必要。

3. 令和 7 年度自主事業案について

クラギ文化ホールがリニューアルオープンし使えるようになるので、各ホールに見合った事業をしていきたい。

「関孝弘ピアノリサイタル」「中部フィルハーモニー交響楽団」「ワンコインコンサート」といった恒例の事業を始め、音楽、演芸、劇など大人向け、子ども向けを取り混ぜて、質の高い事業を幅広くやりたい。

NHK の事業や宝くじ公演なども活用したい。

松阪ダンスフェスティバルについて、6 年度はクラギ文化ホールが休館で大々的には行えないが、7 年度は松阪市合併 20 周年でもあり、その記念事業に位置付けられるくらいの規模でやっていきたい。

また、コロナ禍で休止していた、松阪の第九を実施する予定である。

主な議論・意見内容

・他の会館で「避難訓練コンサート」というのをやっていた。松阪でも取り入れてはどうか？
・ワンコインコンサート、あまり人が入っていないように見受けられるが？空席が多いと演者の方にも申し訳ないと思う。

→(事務局) このコンサートは新進気鋭のアーティストが多いので、発表の場が増えること自体はアーティストにとってもプラスであると考えているが、人気が無いと思わせてしまっては申し訳ないので、多くの方に来てほしい。

・質の高いイベントとは具体的にどういうものか？

→(事務局) やはり知名度や人気があるアーティスト等は、行ってみたいと考える人が多いと思う。同時に、あまり知られていなくても、各分野でレベルの高いアーティストを招き、見て、新たに知ってもらうという取り組みもしていきたい。

・松阪は以前から文化への関心が高まらないような地域性があると感じている。

→(事務局) 地域の高校が一緒に出演して、少しでも地域の人に親しみを持ってもらいたいとか、イベントのやり方も工夫してどうすれば関心を持ってもらえるか、を模索しつづけないといけない。

・誰でも知っている音楽やアーティストなら、人を誘って一緒に行こうか、となるが、知らないものには関心が薄く、人も集まらないのではないかな。

→(事務局) アーティストによっては、難しい内容ばかりでなく、誰もが知っている曲も取り混ぜて演奏してくれる方もいる。著名な人のイベントはもちろん、知名度が低くても良いものを知らせていくのも行政のつとめであり、バランスを考えてやっていきたい。

その他

・6 年度第 2 回運営委員会の開催日程を決定する。